

## 第5章 文化財の保存・活用に関する将来像

### ●上位計画との整合性

「長岡市総合計画の将来像」（第1節 p.19 より抜粋）

前より前へ！長岡 志を未来に活かし輝き続けるまち
長岡人の心に息づく「米百俵」の精神を受け継ぎ、未来に向かって志を大切に、まちづくりを支える人や産業を積極的に応援します。
（多様な地域の）「宝」を活かし、磨き上げ、さらに発展させることで、「ふるさと長岡」への愛着と誇りを育むとともに、市内から海外まで広く情報発信し交流を拡大するなど、まちの魅力を高める取り組みを進めます。
誰もが健やかに暮らすことのできる、快適な暮らしと活気あるまちをつくり、オール長岡で輝き続ける長岡を目指します。

以上の上位計画における将来像を踏まえ、文化財の保存・活用を図るための将来像を下記のとおり設定しました。

### 地域計画の将来像

## 誰もがまちの魅力発信者

～ふるさとの歴史文化を守り、伝え、愛着と誇りをもてる長岡に～

この将来像の設定には、長岡の歴史文化が市民の暮らしとどのように関わってくるのかを重視しました。具体的には、以下の基本的な方向性を実践していきます。

方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4	方向性 5
知る	守る	伝える	活かす	育てる
歴史文化の調査・研究・学習会を継続的に行います。	文化財の保存・修理・防災対策を適切に行います。	文化財の情報を発信し、人的交流の拡大と次世代への継承を促します。	文化財を活かしたまちづくりや観光振興を進めます。	文化財の保存・活用の基盤となる人材育成とネットワークを構築し、地域の活力向上につなげます。

この四つの方向性を実践することで（ふるさとの歴史文化を知り、魅力を認識することで）、市民ひとりひとりが愛着と誇りをもって暮らし、互いに支え合いながら文化財を継承していける長岡を目指します。

※なお、今後実施予定のアンケート調査、ワークショップの意見をまとめ、将来像に反映する必要があります。

## ●全体構成

本計画における歴史文化遺産の保存・活用に関する課題・方針の全体構成を以下に示します。

